平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名　株式会社 ハピネット　　上場取引所　東
コード番号　7552　URL　http://www.happinet.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役　(氏名) 苗手　一彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者　(氏名) 浅津　英男　TEL 03-3847-0410
四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	42,434	8.9	1,072	87.4	1,146	86.2	713	101.6
23年3月期第1四半期	38,955	△2.9	572	34.3	615	12.5	353	△35.7

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　646百万円　(177.3%)　23年3月期第1四半期　233百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	63.71	—
23年3月期第1四半期	31.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	49,182	20,284	41.2
23年3月期	48,507	19,802	40.8

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　20,275百万円　23年3月期　19,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		22.50	—	22.50	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　有
配当予想の修正については、本日(平成23年8月10日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	86,000	1.1	1,700	37.1	1,800	36.9	1,100	54.3	98.20
通期	192,000	0.6	3,100	8.6	3,200	6.2	1,600	16.2	142.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　有
連結業績予想の修正については、本日(平成23年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	12,025,000 株	23年3月期	12,025,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	823,705 株	23年3月期	823,705 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	11,201,295 株	23年3月期1Q	11,201,587 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による企業の生産活動の停滞や個人消費の低迷など深刻な影響をうけましたが、供給網の早期の復旧等により、一部持ち直しの動きも見られつつあります。しかしながら、電力不足や慢性的な円高など懸念すべき問題も多く、先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループの属するエンタテインメント業界におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化、ブロードバンドインフラの普及によるパッケージ市場の低迷等、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、映像音楽事業におきまして、平成23年４月１日付で、当社（株式会社ハピネット）の映像音楽販売部門を子会社であります株式会社ハピネット・ピーエム（旧社名　株式会社ウイント）に業務を移管し、業務の効率化を推進しており、販売管理費の削減効果等が着実に表れ、好調に推移いたしました。

また、玩具事業、アミューズメント事業におきましても、主力の男児キャラクター商材が好調に推移しております。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は424億３千４百万円（前年同期比8.9％増）、営業利益は10億７千２百万円（同87.4％増）、経常利益は11億４千６百万円（同86.2％増）、四半期純利益は７億１千３百万円（同101.6％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、従来「玩具事業」「映像音楽事業」「ビデオゲーム事業」「アミューズメント事業」の４つを報告セグメントとしており、トレーディングカード、雑貨類の販売に係る事業は「その他」として区分しておりました。

しかし、男女児一般玩具とトレーディングカード、雑貨類の販売における市場、販売方法、顧客の種類等の類似性を考慮した結果、当第１四半期連結累計期間より、トレーディングカード、雑貨類の販売に係る事業セグメントを玩具事業へ集約することといたしました。

前年増減比につきましては、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第１四半期連結累計期間において用いた事業区分に従って組み替えて表示しております。

①玩具事業

中核事業であります当事業は、バンダイの「仮面ライダー　オーズ」、「海賊戦隊ゴーカイジャー」等の男児キャラクター商材が好調に推移し、売上高、セグメント利益とも好調に推移いたしました。

この結果、売上高は154億９千７百万円（前年同期比11.5％増）、セグメント利益は４億９千８百万円（同47.2％増）となりました。

②映像音楽事業

映像音楽市場においては、インターネットを利用したコンテンツ配信等が進んでおり、パッケージ市場が低迷する中、映像ソフト及び音楽ソフトでビッグタイトルの発売があり、売上高は堅調に推移いたしました。

また、利益面に関しましても、業務の効率化の推進による販売管理費の削減等の効果により、好調に推移いたしました。

この結果、売上高は142億７千７百万円（前年同期比17.1％増）、セグメント利益は２億４百万円（前年同期は２千１百万円のセグメント損失）となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム市場においては、市場全体が低迷している中、市場を牽引するようなヒット作の不足等により、当社グループにおきましては苦戦を強いられました。

この結果、売上高は75億７千４百万円（前年同期比13.0％減）、セグメント利益は１億６百万円（同42.5％減）となりました。

④アミューズメント事業

玩具自動販売機商材でカプセル玩具やキッズカードゲーム機で「仮面ライダー　オーズ」、「ワンピース」、「トリコ」等の男児キャラクター商材が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は50億８千４百万円（前年同期比22.2％増）、セグメント利益は５億３千９百万円（同55.2％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は420億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ９億６千６百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加20億１千１百万円、受取手形及び売掛金の減少17億４百万円によるものであります。固定資産は71億７千６百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億９千１百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産の減少１億９千万円によるものであります。この結果、総資産は、491億８千２百万円となり、前連結会計年度末に比べ６億７千５百万円増加いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は260億５百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億６千７百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加12億３千７百万円、未払法人税等の減少５億４千３百万円、賞与引当金の増加１億２千５百万円によるものであります。固定負債は、28億９千３百万円となり、前連結会計年度末に比べ２千５百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金の増加３千４百万円によるものであります。この結果、負債合計は、288億９千８百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億９千３百万円増加いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は202億８千４百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億８千１百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加５億４千５百万円、その他有価証券評価差額金の減少６千６百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は41.2％（前連結会計年度末は40.8％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、映像音楽事業におきまして、業務の効率化の推進により、販売管理費の削減効果等が着実に表れていることや、アミューズメント事業におきまして、前期に引続き玩具自動販売機商材が好調に推移しており、営業利益、経常利益及び当期純利益とも前回の予想を大幅に上回る見通しであることから、第２四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。

なお、通期の業績予想につきましては、当社グループを取り巻くエンタテインメント業界におきましては、市場環境が先行き不透明なため、現時点では修正は行っておりません。

詳細につきましては、本日（平成23年８月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成23年４月１日付で、当社（株式会社ハピネット）の映像音楽販売部門を株式会社ウイントに移管し、株式会社ウイントの社名を株式会社ハピネット・ピーエムに変更いたしました。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,220	10,231
受取手形及び売掛金	23,206	21,501
商品	6,418	7,520
貯蔵品	17	14
その他	3,252	2,810
貸倒引当金	△76	△72
流動資産合計	41,039	42,006
固定資産		
有形固定資産	1,555	1,529
無形固定資産		
のれん	876	792
その他	2,255	2,150
無形固定資産合計	3,132	2,942
投資その他の資産		
投資有価証券	1,548	1,436
その他	1,408	1,443
貸倒引当金	△175	△174
投資その他の資産合計	2,780	2,704
固定資産合計	7,468	7,176
資産合計	48,507	49,182
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,204	21,441
未払法人税等	1,038	495
賞与引当金	314	439
ポイント引当金	5	5
事業構造改善引当金	11	11
返品調整引当金	21	22
その他	4,242	3,589
流動負債合計	25,837	26,005
固定負債		
退職給付引当金	1,630	1,664
資産除去債務	45	46
負ののれん	51	44
その他	1,139	1,137
固定負債合計	2,867	2,893
負債合計	28,704	28,898

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,775	2,775
利益剰余金	15,175	15,721
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	19,611	20,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185	118
繰延ヘッジ損益	0	△0
その他の包括利益累計額合計	185	118
新株予約権	5	8
少数株主持分	0	0
純資産合計	19,802	20,284
負債純資産合計	48,507	49,182

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	38,955	42,434
売上原価	34,101	36,833
売上総利益	4,854	5,600
販売費及び一般管理費	4,281	4,527
営業利益	572	1,072
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	27	20
負ののれん償却額	9	7
その他	19	47
営業外収益合計	56	75
営業外費用		
支払利息	6	1
為替差損	5	0
その他	1	0
営業外費用合計	13	1
経常利益	615	1,146
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	0	－
貸倒引当金戻入額	3	－
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	0
会員権評価損	－	0
災害による損失	－	29
子会社整理損	22	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	－
特別損失合計	50	30
税金等調整前四半期純利益	570	1,115
法人税、住民税及び事業税	116	496
法人税等調整額	100	△94
法人税等合計	216	401
少数株主損益調整前四半期純利益	353	713
少数株主利益	0	0
四半期純利益	353	713

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	353	713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119	△66
繰延ヘッジ損益	△1	△0
その他の包括利益合計	△120	△67
四半期包括利益	233	646
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	233	646
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	12,248	12,195	8,703	4,161	37,309	1,646	38,955	－	38,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－	－
計	12,248	12,195	8,703	4,161	37,309	1,646	38,955	－	38,955
セグメント利益又は損失（△）	311	△21	184	347	822	27	849	△277	572

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨、トレーディングカード等の販売を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△277百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△277百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,497	14,277	7,574	5,084	42,434	－	42,434
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	15,497	14,277	7,574	5,084	42,434	－	42,434
セグメント利益	498	204	106	539	1,349	△276	1,072

（注）１．セグメント利益の調整額△276百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△276百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「玩具事業」「映像音楽事業」「ビデオゲーム事業」「アミューズメント事業」の４つを報告セグメントとしており、トレーディングカード、雑貨類の販売に係る事業は、「その他」として区分しておりました。しかし、男女児一般玩具とトレーディングカード・雑貨類の販売における市場、販売方法、顧客の種類等の類似性を考慮した結果、当第１四半期連結累計期間より、トレーディングカード・雑貨類の販売に係る事業セグメントを玩具事業へ集約することといたしました。

なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第１四半期連結累計期間において用いた事業区分に従って組み替え、表示すると次のとおりであります。

前第１四半期連結累計期間　（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム事業	アミューズメント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,894	12,195	8,703	4,161	38,955	－	38,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	13,894	12,195	8,703	4,161	38,955	－	38,955
セグメント利益又は損失（△）	338	△21	184	347	849	△277	572

（注）１．セグメント利益の調整額△277百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△277百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。